

商工・観光・ブランド戦略

1. 現況

産業構造

(1) 全産業

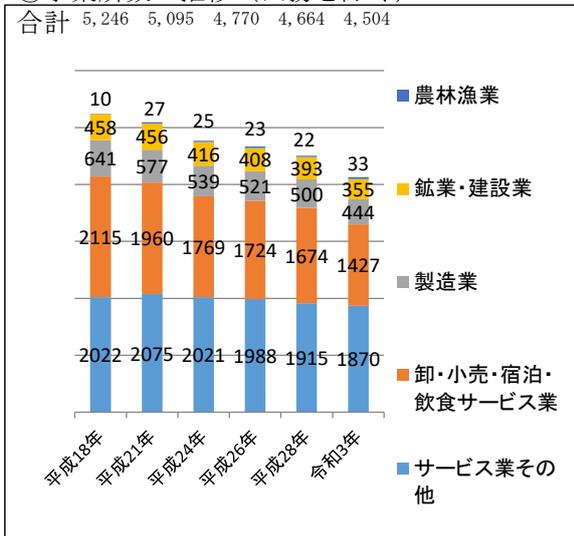
①産業大分類、経営組織別事業所数と従業者数（民営事業所（公務を除く））

| 産業大分類 | 事業所数 | 従業者数（人） |
|--------------------|-------|---------|
| 総数 | 4,129 | 41,034 |
| 第一次産業 | 33 | 382 |
| 農林漁業 | 33 | 382 |
| 第二次産業 | 799 | 14,190 |
| 鉱業 | 0 | 0 |
| 建設業 | 355 | 2,661 |
| 製造業 | 444 | 11,529 |
| 第三次産業 | 3,297 | 26,462 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9 | 185 |
| 情報通信業、運輸業、郵便業 | 111 | 1,848 |
| 卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業 | 1,427 | 10,594 |
| 金融・保険業 | 66 | 751 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 306 | 703 |
| サービス業等 | 1,378 | 12,381 |

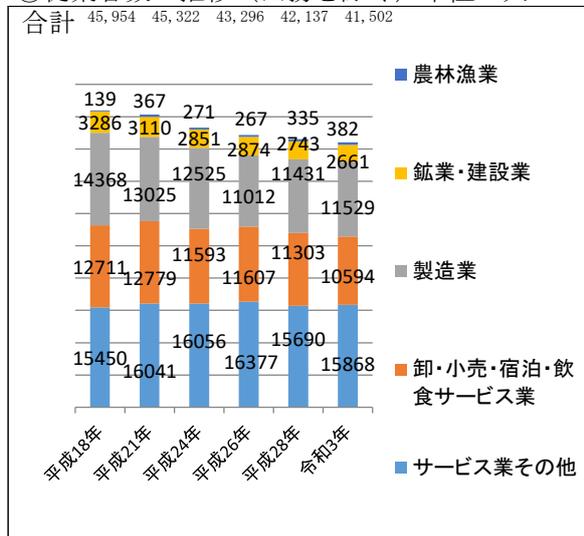
②従業者規模別事業所数と従業者数

| | 総数 | 1～4人 | 5～9人 | 10～29人 | 30人以上 | 派遣・下請従業者のみ |
|---------|--------|-------|-------|--------|--------|------------|
| 事業所数（社） | 4,129 | 2,411 | 708 | 704 | 275 | 31 |
| 割合（％） | 100 | 58.4 | 17.1 | 17.0 | 6.7 | 0.8 |
| 従業者数（人） | 41,034 | 5,013 | 4,680 | 11,429 | 19,912 | |
| 割合（％） | 100 | 12.2 | 11.4 | 27.9 | 48.5 | |

③事業所数の推移（公務を除く）



④従業者数の推移（公務を除く）単位：人



「米沢市の事業所（令和3年経済センサス活動調査）」

(2) 工業

①事業所数、従業者数、原材料使用額等及び製造品出荷額等

| 年 | 事業所数 | 従業者数（人） | 原材料使用額等（万円） | 製造品出荷額等（万円） |
|------|------|---------|-------------|-------------|
| 平成30 | 385 | 11,592 | 36,770,262 | 53,129,274 |
| 令和元 | 367 | 10,899 | 42,859,506 | 58,785,392 |
| 令和2 | 235 | 11,140 | 39,322,944 | 56,198,739 |
| 令和3 | 275 | 11,457 | 38,227,791 | 53,514,871 |
| 令和4 | 276 | 11,389 | 37,194,818 | 51,845,364 |

※ 令和元年前は「工業統計調査(全事業所)」、令和2年は「令和3年経済センサス活動調査（従業者4人以上の事業所）」、令和3年以降は「経済構造実態調査（個人経営を除く事業所）」の数値を掲載している。

②業種別事業所数、従業者数、原材料使用額等及び製造品出荷額等

| 業種別 | 事業所数 | 従業者数(人) | 原材料使用額等(万円) | 製造品出荷額等(万円) |
|--------|------|---------|-------------|-------------|
| 食料 | 22 | 550 | 970,624 | 1,329,311 |
| 飲料等 | 4 | 71 | 34,859 | 98,128 |
| 繊維 | 56 | 910 | 284,091 | 631,729 |
| 木材 | 9 | 124 | 145,461 | 263,346 |
| 家具 | 10 | 70 | 24,996 | 55,544 |
| 紙 | 7 | 191 | 233,736 | 376,540 |
| 印刷 | 11 | 368 | 296,105 | 639,790 |
| 化学 | 7 | 418 | 706,404 | 1,331,681 |
| 石油 | 2 | 10 | X | X |
| プラスチック | 9 | 183 | 126,238 | 313,554 |
| ゴム | 2 | 193 | X | X |
| 皮革 | 1 | 13 | X | X |
| 土石 | 12 | 971 | 1,671,284 | 2,571,596 |
| 鉄鋼 | 3 | 30 | 18,195 | 38,078 |
| 非鉄 | 3 | 437 | 1,904,133 | 2,687,378 |
| 金属 | 18 | 467 | 558,181 | 1,074,035 |
| はん用機械 | 5 | 438 | 701,583 | 1,083,100 |
| 生産用機械 | 39 | 1,928 | 3,050,478 | 3,992,543 |
| 業務用機械 | 1 | 57 | X | X |
| 電子 | 20 | 1,647 | 5,878,859 | 10,111,311 |
| 電機 | 9 | 604 | 3,866,574 | 3,363,302 |
| 情報 | 13 | 1,653 | 17,535,706 | 23,079,019 |
| 輸送 | 4 | 64 | 11,660 | 42,182 |
| その他 | 8 | 60 | 20,152 | 62,357 |
| 計 | 275 | 11,457 | 37,194,818 | 51,845,364 |

※ Xは、事業所数が1又は2の場合に、秘密の保持上秘匿したことを示す。

「令和4年経済構造実態調査(個人経営を除く事業所)」

(3) 卸売・小売業

①商店数、従業者数及び年間商品販売額

| 年(平成) | 商店数 | 従業者数(人) | 年間商品販売額(万円) |
|-------|-------|---------|-------------|
| H19 | 1,284 | 8,485 | 19,833,887 |
| H24 | 932 | 6,209 | 15,299,361 |
| H26 | 912 | 6,437 | 16,979,992 |
| H28 | 968 | 6,974 | 18,322,892 |
| R3 | 865 | 6,755 | 15,825,942 |

「令和3年山形県の商業」

②産業分類別商店数、従業者数及び年間商品販売額

| 産業分類別 | 商店数 | 従業者数(人) | 年間商品販売額(万円) |
|-----------|-----|---------|-------------|
| 総数 | 865 | 6,755 | 15,825,942 |
| 卸売業計 | 185 | 1,374 | 6,468,989 |
| 各種商品卸売業 | 4 | 19 | X |
| 繊維・衣類等卸売業 | 24 | 102 | 184,445 |
| 飲食料品卸売業 | 35 | 334 | 1,598,523 |
| 建築材料等卸売業 | 38 | 338 | 1,460,938 |
| 機械器具卸売業 | 49 | 313 | 1,342,217 |
| その他の卸売業 | 35 | 268 | 1,779,017 |
| 小売業計 | 680 | 5,381 | 9,356,953 |
| 各種商品小売業 | 1 | 10 | X |
| 織物・衣服等小売業 | 62 | 310 | 456,630 |
| 飲食料品小売業 | 192 | 2,247 | 3,046,452 |
| 機械器具小売業 | 129 | 771 | 1,784,711 |
| その他の小売業 | 270 | 1,807 | X |
| 無店舗小売業 | 26 | 236 | 449,520 |

※ Xは、事業所数が1又は2の場合に、秘密の保持上秘匿したことを示す。

「令和3年山形県の商業」

2. 商工業振興対策

1 経営安定対策

市内の中小零細企業の事業経営改善発展を図るため、米沢商工会議所が行う「経営革新」や「創業支援」、「事業継続」などの経営支援事業に対して補助を行うとともに、本市企業の大半を占める中小企業への経営改善に向けた取組を支援し、中小企業支援を図っている。

2 金融対策

市単独の融資制度を設け、中小企業者等の設備等の近代化及び経営基盤の確立を図るための資金融資を促進し、商工業振興を支援している。

また、本市中小企業者等の負担軽減を図るため、市が信用保証料の一部を補給し経営の安定を図っている。

米沢市商工業振興資金(市単独制度)

(令和6年4月1日)

| 資金名 | 融資対象者 | 資金使途 | 貸付限度額 | 貸付期間 (据置期間) | 貸付利率 (固定) |
|---------------|--|--------------|-----------|----------------|---------------------------------|
| 産業活性化 資金 | 本市に事業所を有する中小企業者で、経営の近代化及び合理化並びに販路の開拓等を行うもの | 運転資金 | 2,000万円以内 | 7年(1年) | 年1.6% |
| | | 設備資金 | 5,000万円以内 | 10年(2年) | |
| まちづくり 支援資金 | ※指定区域において出店又は店舗の改装を行う小売業者、飲食業又はサービス業を営む者 | 運転資金 | 2,000万円以内 | 7年(1年) | 年1.0% |
| | | 設備資金 | 5,000万円以内 | 10年(2年) | |
| 創業支援 資金 | 市内において創業しようとする者 | 運転資金 設備資金 | 1,500万円以内 | 10年(2年) | 指定区域内 年1.0% 上記以外 年1.2% |

※指定区域…米沢市立地適正化計画に定める都市機能誘導区域の中心地区内において、都市計画用途域が「商業地域」及び「近隣商業地域」に指定されている範囲をいう。

米沢市産業立地促進資金(県と市の協調の制度)

(令和6年4月1日)

| 融資対象者 | 資金使途 | 貸付限度額 | 貸付期間 (据置期間) | 貸付利率 (変動) |
|---|--------------|---|---|---|
| 本市産業の高度化に資することが期待できるものであって、次のいずれかに該当する事業 ①市内の工業団地等に立地する事業 ②市内に大規模な立地を行う事業 ③県外から新たに市内に立地する事業で、製造業又は山形県企業立地促進補助金の交付を受けて物流施設を立地するもの又は本社機能を移転するもの ④市内の工業団地等に立地しているもの又は市内に大規模な立地を行ったもので、増設・増築を行う事業 | 運転資金 設備資金 | 工業団地等への立地に必要な運転資金及び設備資金の合計額以内(ただし、残高の通算は20億円を限度とする) | 運転資金 15年(3年) 設備資金 20年(3年) ただし、建物の新築、増築又は改築に係る資金が含まれていない場合は15年以内 | 年0.7% 県指定金融機関の短期プライムレートマイナス 1.275%の変動金利 |

3 中小企業・商業振興

(1) 米沢市中小企業振興条例

市内企業の大多数を占める中小企業は地域の経済と市民の雇用を支え、本市の発展と市民生活の向上をもたらしてきた。

しかし、本市をとりまく経済的、社会的環境は日々変化しており、地域社会において重要な役割を果たしている中小企業の健全な経営に大きな影響を及ぼしている。

こうした変化に対応し、中小企業が成長発展しながら、これからも本市の発展を牽引する重要な役割を果たしていくため、中小企業者自らの努力はもちろん、地域社会を構成する市民や行政等の様々な主体の役割を明確にし、中小企業を支援していくことが必要であり、理念条例として本条例を制定した。

平成29年度には、本条例に定める基本理念等の実現のために、本市が取り組む具体的な施策等を定める米沢市中小企業振興アクションプランを策定した。

(2) 創業支援事業計画の推進

今後の商工業振興の大きな柱となる施策として、若者の定住や地域活性化を促進するために、平成27年5月に国から産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の認定を受け、創業相談窓口を設置して創業検討段階から創業後のフォローアップまで創業者の支援を行っている。さらには、令和2年度の「創業支援等事業計画」として、新たな支援施策（特定創業支援事業（創業塾の開催、米沢商工会議所の相談窓口）に係る事業内容の追加、ジュニアエコノミーカレッジ事業）を追加し、創業を目指す方への支援をより一層強化していく。

①ワンストップ窓口

場所：米沢市産業部商工課（米沢市役所2階）

時間：午前9時から午後5時まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

内容：ア. 創業支援に関する情報提供

イ. 特定創業支援事業の申請受付・認定書交付

ウ. 市補助金（創業支援事業費補助金）の申請受付・認定

エ. 市融資制度（米沢市商工業振興資金融資制度（創業支援事業））の申請受付・認定

②特定創業支援事業（創業塾）

創業を希望される方への継続的な支援で創業に必要な4分野（経営・財務・人材育成・販路開拓）の知識が習得できる事業。事業を受けた方は下記4つの支援を受けることが出来る。

支援内容：①株式会社を設立する際の登録免許税が半額に軽減

②山形県信用保証協会の創業関連保証が創業6ヶ月前から利用可能

③日本政策金融公庫新規開業資金において、基準利率より低利で融資が受けられる

【創業塾】 全回13時～17時 土曜日開催

| 回 | 期日 | テーマ |
|---|------------|--------------------------|
| 1 | R5. 8. 26 | ビジネスプランを考える 創業の心構えと創業計画 |
| 2 | R5. 9. 2 | マーケティングの重要性 SNSを活用した販路開拓 |
| 3 | R5. 9. 16 | 創業計画と資金計画 専門家による個別相談 |
| 4 | R5. 9. 30 | 成功する創業モデルとは 創業体験者の話 |
| 5 | R5. 10. 14 | 成果発表と今後の課題 ビジネスプランの発表 |

◆講師 ㈱スリーデイズ 伊藤理恵氏 他

③創業支援事業費補助金

創業を促進し、創業後の安定的経営を図ることにより、民間活力を高め、本市の産業の活性化と雇用の確保を促進するための補助制度。特に当該年度において40歳以下の若手創業者に対しては、補助の上限額において上乗せした金額を設定し、若者の創業の促進を図る。また、令和元年度より新たに移住創業制度として、本市内に転入し創業する者への補助を拡充し、更なる産業の活性化と定住人口の増加を図る。

(令和6年4月1日)

| 事業名 | 内 容 | 限度額(1/2補助) |
|--|---|------------|
| 創業支援事業 | 本市において創業しようとするもの | 15万円 |
| 若手創業支援事業 | 本市において創業しようとするもののうち、事業を開始しようとする年度においてその者の年齢が40歳以下の者 | 25万円 |
| * 米沢市内に転入し創業する者は、上記限度額に30万円加算 | | |
| * 創業支援等事業計画に定める特定創業支援を受けた者は、上記限度額に10万円加算 | | |

④米沢市商工業振興資金融資制度（創業支援事業）

創業者の設備等の近代化及び経営基盤の確立を図るため、資金の融資を促進することにより、創業者の安定的経営を図る。平成28年度より創設。（2金融対策参照）

(3) 中心市街地（商店街）活性化推進事業

①中心市街地活性化基本計画

本市では、平成25年8月に「米沢市中心市街地活性化基本計画」を改定し、中心市街地における都市機能の増進を密度の高い豊かな地域づくりに向けて推進してきた。また、米沢市中心市街地活性化協議会を設置し、活性化へ向けて様々な事業に取り組んできた。本計画は令和2年度で終了したが、今後も中心市街地の活性化が不可欠との観点から、令和3年度以降も中心市街地活性化に資する取組を推進している。

②中心市街地活性化事業

各商店がおすすめ商品やサービスを明確に打ち出し、自店の魅力アップを目指す「一店舗一名物開発事業」を引き続き推進するほか、春・秋に「まちなかゼミナール」（各商店が専門的な知識を活かして無料のミニ講座を開講し、店舗に行くきっかけをつくる）を開催し、来店者増加・売上増加を目指す。また、多くの方が集まるナセBAから周辺エリアへの回遊性を高めるための飲食店のランチ情報を集めた「ランチマップ」の発行や、西條天満公園とナセBA周辺の環境美化活動（花植えやごみ拾いなど）を実施し、中心市街地の周辺商業、サービス業者と大学生が連携・協力し賑わいの創出と来街者の増加を図る等、商業の活性化に資する様々な事業についてそれぞれの実施主体において取り組んでいる。

(4) 商工業地域活性化支援事業

①商工業地域活性化支援事業費補助金

商店街や中小企業者が商工業の活性化を図るための各種事業に対する補助制度

(令和6年4月1日)

| 事業名 | 内 容 | 補助上限(補助率) |
|------------|--|-------------------------------------|
| 商業活性化事業 | (1) 商店街等で通用するカードを作成するもの (2) 複数の商店または商店街への集客を高めるためにイベント等を行うもの (3) ホームページを作成するもの | 20万円(補助率1/2) ただし、※指定区域で行う事業は30万円 |
| 商店街基盤整備事業 | (1) 商店街の環境や施設を整備するもの (2) 商店街の現況把握、及び振興のために行う調査等に係るもの | 20万円(補助率1/2) |
| 新商品等開発支援事業 | (1) 商品又は製品の開発を行うもの (2) 試作品の製作等を行うもの | 20万円(補助率1/2) |
| 公益事業 | 指定区域において、社会貢献活動や地域づくり活動を行うもの | 20万円(補助率1/2) |
| 空き店舗活用事業 | 指定区域に存する空き店舗を活用して行う事業のうち次に掲げるもの以外のもの ア 農業、林業及び漁業 イ 風俗営業等 | 30万円(補助率1/2) |
| 販路拡大支援事業 | 県外又はウェブサイトで開催される見本市、展示会、博覧会等(小売りを目的とするものを除く。)に参加するもの | 10万円(補助率1/2) |

※指定区域…米沢市立地適正化計画に定める都市機能誘導区域の中心地区内において、都市計画用途域が「商業地域」及び「近隣商業地域」に指定されている範囲をいう。

(5) 商店街等にぎわい創出事業

商店街等にぎわい創出事業費補助金

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響による経済の低迷により、事業経営に著しい影響を受けている商店街等が賑わいの創出及び消費喚起を図るため実施する事業を支援することで、商店街全体の活性化や各事業所の業績回復に繋げる。

※R5年度実績 5件 3,725,000円

4 工業振興

本市は、各工業団地への立地企業を始め、多種多様な技術を有する地場の企業の集積により、東北で有数の産業集積地となった。製造品出荷額等（個人経営を除く事業所）は最新の公表値である令和4年には約5,185億円であり、県内で上位に位置している。

情報通信機械器具製造業及び電子部品・デバイス・電子回路製造業は、市の製造品出荷額等の約6割を占め、本市の産業を支える大きな柱となっている。このため、中核企業の育成強化を図るとともに、関係企業を含めた連携を強化するため、中核企業の組織化が図られている。現在市内には、各種企業グループがあり系列の垣根を越えた技術交流が行われ、重層的なネットワークを形成している。

(1) 工業振興計画

本市では、ものづくり産業の振興を総合的、長期的観点から推進するため、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第3期米沢市工業振興計画に基づき各種施策を展開している。

本計画は、社会経済の情勢変化に的確に対応しながら、産学官金連携による効果的な施策展開を図るため、本市の最上位計画である『米沢市まちづくり総合計画』の中の基本目標である「挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり」及び「活力ある商工業の振興」について具体的施策を展開するための基本的な指針であり、「高付加価値化による持続可能なものづくり産業の実現」を基本目標に掲げ、本市のものづくり産業の持続的な発展及び高付加価値なものづくりの実現を図るために、引き続き、各種施策を推進していく。

①米沢市ものづくり産学連携コーディネーター事業

本市では、産学連携支援員を1名配置し、企業間及び企業と山形大学工学部等との技術連携を進めている。

本事業の具体的な内容としては、産学連携支援員が市内企業を訪問し、潜在する優れた技術や企業が抱える問題・課題等の掘り起こしを行い、その中から山大工学部の研究シーズとマッチングさせ、共同研究などを通して、新技術の開発や新製品の開発等につなげながら、企業の課題解決及び技術開発力向上のための支援を実施するものである。

(2) 米沢ものづくり振興事業

本事業の実施主体である「米沢ものづくり振興協議会」は、平成31年4月に「米沢新産業創出協議会」と「米沢産業育成事業運営委員会」の2団体を再構築し設立され、地域内の産学官金が連携し、地域ものづくり企業の国内外での販路開拓、ものづくり産業人材の育成、新たな事業の創出に向けて取り組み、製造業の付加価値向上を図ることで「ものづくり」のまち米沢の活性化を実現することを目的として活動を行っている。

令和2年度より、販路開拓支援員を1名任用するなど、市内企業の新規受発注機会の獲得に対する支援の強化を図っており、翌年度以降もきめ細かな企業支援を継続して実施していく。

[主な事業内容]

- ① 国内販路開拓支援事業（産業団体との連携による展示・商談会等への参加）
- ② 海外販路開拓支援事業（ドイツ及びその関連地域における市内企業の新規販路開拓支援）
- ③ ものづくりビジネスサポート事業（販路開拓支援員の任用による企業支援強化）
- ④ 人材育成支援事業（人材育成関連講座・セミナーの開催）

(3) 新技術開発支援

①発明考案奨励

市民の科学に対する意識を向上するため発明及び考案を奨励し、本市の産業の振興に寄与することを目的として、市発明考案奨励条例により、助成措置を講じている。平成29年度より、隔年で事業実施することとしている。

| 年度 | H27 | H28 | H30 | R2 | R4 |
|----|-----|-----|-----|----|----|
| 件数 | 4 | 1 | 2 | 3 | 0 |

(4) 米沢織物

①米沢織物振興対策

米沢織は先染、絹織物、多品種生産を得意として発展してきたが、現在は後加工、合成繊維まで技術の幅を広げている。呉服部門は需要が減少している中で、草木染めを主体に高級品化と作家志向が強まっている。服地部門は多品種、小ロット、短サイクル・短納期、天然繊維志向がますます強まっている中で、差別化商品づくりに努めている。

また、平成24年度で米沢繊維協同組合連合会を解散し、平成25年度に米沢繊維協議会を立ち上げ、組織のスリム化と業界の若返りを図った。

新型コロナウイルス感染症の影響による市場の縮小や販売機会の減少が繊維業界へ与える打撃は大きいものとなっているが、同協議会による米沢織の集い「きもの大好きパーティー」等の取組みについて継続的に支援することにより、本市の伝統産業である米沢織の振興と和装の振興促進を図るとともに、市民の着物に対する愛着心を醸成する。

②米沢ファッションベースキャンププロジェクト推進事業

繊維産地米沢の新たな価値の創造を目指し、洋装関連企業が連携して意匠や生産、国内外における販路開拓等に取り組むため、令和6年5月に本市と市内企業5社を中心として米沢ファッションベースキャンププロジェクト推進協議会を組織した。

今後は産地ブランド力や製品価値の向上、新規販路開拓の実現に向けた各種事業を展開し、事業効果の産地全体への波及を促進していく。

[主な事業内容]

① 情報発信事業

- ・米沢産地及び参画企業の競争力強化に向けた各種分析・調査
- ・デジタルを活用した発信媒体（HP、SNS等）の整備及び運用
- ・分析・調査結果に基づいた国内外販路開拓の実施

② 研究会等開催事業

繊維産業を取り巻く課題や産地ブランド力の向上、独自トレーサビリティ制度等に関する勉強会・セミナーの開催

5 工業団地・企業誘致

本市の「第4次米沢市建設振興計画」において、工業の安定した経営基盤を確立するために既存企業の団地化と新規立地企業のための工業団地造成を位置付けた。

(令和6年4月1日)

| 分譲・管理主体 | 民間 | | | 米沢市 | |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-------------|---------------|
| | 窪田工業団地 | 東松原工業団地 | 米沢南工業団地 | 米沢八幡原中核工業団地 | 米沢オフィス・アルカディア |
| 団地名 | 窪田町窪田 | 大字三沢 | 大字李山、直江石堤 | 八幡原1～5丁目 | アルカディア1丁目 |
| 所在地 | 窪田町窪田 | 大字三沢 | 大字李山、直江石堤 | 八幡原1～5丁目 | アルカディア1丁目 |
| 総面積 | 39.9ha | 3.3ha | 82ha | 383.6ha | 33.3ha |
| 立地企業数 | 24 (14) | 1 | 10 | 72 | 25 |
| 未操業企業数 | 1 (1) | 0 | 0 | 5 | 2 |
| 立地企業の用地面積 | 28.6ha (15.0ha) | 3.1ha | 61.0ha | 170.3ha | 22.5ha |
| 未利用の用地面積 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3.5ha |

窪田工業団地の欄中（ ）書きは窪田西団地分で内数

(1) 八幡原中核工業団地

昭和48年に工業再配置法による全国第1号中核工業団地指定を受け、(独)中小企業基盤整備機構(旧地域振興整備公団)が昭和50年9月から55年度まで384haを工業団地として造成した。

平成13年特殊法人合理化計画が閣議決定されたことに伴い、平成25年12月に米沢市が(独)中小企業基盤整備機構から分譲用地を取得し、管理、分譲業務を継承した。令和4年3月に分譲用地が完売し、現在、先端産業を中心とした71社1団体が立地し、その内66社1団体が操業している。

団地の概要

| | |
|------|----------------------------|
| 面積 | 383.6ha |
| 分譲用地 | 170.3ha |
| 上水道 | 1,000m ³ /日 |
| 工業用水 | 14,700m ³ /日 |
| 下水道 | 米沢市公共下水道により処理 |
| 電力 | 一般高圧及び特別高圧(60,000KVA)まで受電可 |
| 緑地基準 | 整備済み |

経過

| | |
|----------|---|
| 昭和47年12月 | 工業再配置・産炭地域振興整備公団に八幡原地域の開発構想を説明 |
| 昭和48年9月 | 中核工業団地として全国第1号に指定される。 |
| 昭和48年11月 | 市が用地の代行買収に着手 |
| 昭和49年10月 | 造成のための基本計画 通産大臣承認 |
| 昭和53年7月 | 公募による分譲開始 |
| 昭和55年 | 造成完了 |
| 平成16年7月 | 地域振興整備公団の改編により(独)中小企業基盤整備機構が事業を承継 |
| 平成25年12月 | 米沢市が(独)中小企業基盤整備機構より分譲用地を取得し、分譲用地の管理・分譲業務を承継 |
| 令和4年3月 | 分譲用地完売 |

利用済面積（分譲面積） 170.3ha
 利用率 100%

(2) 米沢オフィス・アルカディア

(独)中小企業基盤整備機構（旧地域振興整備公団）が平成9年7月に造成を開始し、平成12年4月に分譲を開始した。平成13年特殊法人合理化計画が閣議決定されたことに伴い、平成25年12月に米沢市が(独)中小企業基盤整備機構から分譲用地を取得し、管理、分譲業務を継承した。現在、23社2団体が立地し21社2団体が操業している。

団地の概要

| | | |
|------|-------|-------------------------------|
| 面積 | | 33.3ha |
| 分譲用地 | | 25.9ha |
| 上水道 | | 米沢市上水道より供給 |
| 下水道 | | 米沢市公共下水道により処理 |
| 公園緑地 | | 中央部に公園を配置し、メイン交差点にはポケットパークを設置 |

経過

| | |
|----------|--|
| 平成 6年9月 | 地方拠点都市の知事の地域指定を受ける |
| 平成 7年7月 | 置賜地方拠点都市地域基本計画 県知事承認 |
| 平成 8年3月 | 地域振興整備公団 事業採択 |
| 平成 8年4月 | 地域振興整備公団米沢開発所開設（山形総合開発事務所米沢現地事務所） |
| 平成 8年6月 | 用地取得 実施設計・農業用排水路付替工事・造成準備工事 |
| 平成 9年7月 | 起工式 造成工事（上下水道施設、消防施設、緑地工事） |
| 平成12年4月 | 一部分譲開始 |
| 平成13年4月 | 現地案内所開設 |
| 平成13年4月 | 全面分譲開始 |
| 平成13年3月 | 山形総合開発事務所米沢現地事務所 閉所 |
| 平成16年7月 | 地域振興整備公団の改編により(独)中小企業基盤整備機構が事業を承継 |
| 平成25年12月 | 米沢市が(独)中小企業基盤整備機構より分譲用地を取得し、分譲用地の管理・分譲業務を承継（現地案内所撤去） |

利用済面積（分譲及び貸付面積） 22.5ha
 利用率 86.66%

未利用区画の価格等の概要(令和6年4月1日現在)

| | | | |
|-------|--------|----------------------|-----|
| 分譲等面積 | 1区画当たり | 3,099.87㎡～16,679.79㎡ | 6区画 |
| 分譲単価 | 1㎡当たり | 10,270円～11,610円 | |
| | 1区画当たり | 35,803千円～171,301千円 | |

3. 労務対策

1 雇用の安定対策

若年労働者の技術能力向上や地元定着の推進、高齢者及び障がい者の就業機会の開発、労働力の確保などを関係機関と連携し、雇用の促進・雇用の安定を図っている。

①就業（内職）相談

就業、内職に関する相談を受け、内職や関係機関の紹介を行う。

| 年度 | 相談件数 | 紹介者 | 採用者 |
|----|------|------|------|
| R1 | 147件 | 117名 | 85名 |
| R2 | 132件 | 119名 | 83名 |
| R3 | 149件 | 136名 | 115名 |
| R4 | 161件 | 161名 | 128名 |
| R5 | 199件 | 199名 | 186名 |

2 労働環境について

本市に所在する企業の雇用状況、賃金、労働福祉等を的確に把握し、労働行政の指針とするため、置賜地区雇用対策協議会への参加等、関係各団体との連携を図っている。

令和5年度 労働の状況（全数：パートタイムを含む） 米沢公共職業安定所管内

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|----------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規求職 申込件数 | 732 | 481 | 509 | 440 | 496 | 532 | 541 | 454 | 410 | 571 | 711 | 566 | 537 |
| 月間有効 求職者数 | 2,276 | 2,254 | 2,198 | 2,043 | 2,075 | 2,157 | 2,231 | 2,175 | 2,049 | 2,126 | 2,414 | 2,505 | 2,209 |
| 新規 求人数 | 1,104 | 1,024 | 990 | 1,031 | 1,068 | 1,122 | 831 | 968 | 1,094 | 851 | 1,055 | 907 | 1,004 |
| 月間有効 求人数 | 3,104 | 3,056 | 2,973 | 2,884 | 2,882 | 3,068 | 2,842 | 2,769 | 2,808 | 2,749 | 2,906 | 2,715 | 2,896 |
| 就職件数 | 240 | 228 | 235 | 202 | 174 | 215 | 225 | 221 | 184 | 179 | 248 | 356 | 226 |
| 新規 求人倍率 | 1.51 | 2.13 | 1.94 | 2.34 | 2.15 | 2.11 | 1.54 | 2.13 | 2.67 | 1.49 | 1.48 | 1.60 | 1.92 |
| 有効 求人 倍率 | 米沢 ※1 | 1.36 | 1.36 | 1.35 | 1.41 | 1.39 | 1.42 | 1.27 | 1.27 | 1.37 | 1.29 | 1.20 | 1.31 |
| | 山形県 ※2 | 1.49 | 1.46 | 1.43 | 1.41 | 1.39 | 1.39 | 1.37 | 1.33 | 1.35 | 1.30 | 1.32 | 1.38 |
| | 全国 ※2 | 1.32 | 1.32 | 1.31 | 1.30 | 1.30 | 1.29 | 1.29 | 1.27 | 1.27 | 1.26 | 1.28 | 1.29 |

※1…原数値 ※2…季節調整値

参考資料：米沢公共職業安定所「米沢所管内の労働市場」

3 労働福祉の向上対策

労働者の福祉の向上を基本とした職場環境の充実や未組織労働者に対する金融の円滑化を図っている。

①米沢市労働者生活安定資金貸付金

中小企業で働く未組織労働者に対する生活安定資金融資制度の原資を東北労働金庫に預託し、制度を活用する労働者の生活の安定を図っている。

生活安定資金種類

- ・自動車資金 融資限度額200万円 年1.45% 期間7年以内
 - ・教育資金 融資限度額300万円 年1.45% 期間10年以内
 - ・福祉資金 融資限度額100万円 年1.25% 期間7年以内
 - ・生活資金 融資限度額100万円 年2.75% 期間7年以内
- （米沢市6千万円、労働金庫6千万円の原資で融資枠1.2億円）

| 年度 | 年度末残高 | | 新規貸付 | |
|----|-------|----------|------|----------|
| | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) |
| R1 | 83件 | 52,604千円 | 17件 | 21,800千円 |
| R2 | 62件 | 43,813千円 | 12件 | 14,420千円 |
| R3 | 67件 | 54,667千円 | 23件 | 28,340千円 |
| R4 | 70件 | 51,045千円 | 14件 | 14,090千円 |
| R5 | 74件 | 56,229千円 | 18件 | 23,280千円 |

4 米沢市人材確保・定着促進事業

市内の高校生・短大生・大学生の地元企業への就職促進、大都市圏の進学・就職した若年層の呼び戻し(Uターン)、他地域からの移住促進(IJターン)等の事業を行い、地域産業界の人材の確保を図る。

米沢商工会議所が経済産業省の補助を受け、平成25年度に開始した事業であるが、平成27年度以降は、米沢市の委託事業として継続展開している。

[主な事業]

- ・学生の地元就職促進
企業見学会・学校OB企業訪問会等の実施、学校と企業との懇談会開催
- ・UIJターン就職の促進
本市へのUIJターン者が語るオンラインミーティングの開催、成人式でのUターンPR動画の放映
- ・インターンシップ支援
- ・企業への人材定着の促進
スキルアップや採用活動に関するセミナーの開催
- ・地域企業情報の発信
ウェブサイト「やまがた就職企業ナビ米沢」の運営、SNSでの情報発信

4. 観光振興対策

1 年度別、目的別観光客数の推移

(延数、単位：人)

| 目的 \ 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 山 岳 | 14,427 | 13,890 | 13,674 | 15,479 | 14,740 |
| 名所旧跡 | 1,268,786 | 660,683 | 636,057 | 813,091 | 892,467 |
| 温 泉 地 | 111,052 | 84,726 | 90,355 | 108,546 | 111,858 |
| スキー場 | 45,084 | 66,898 | 71,773 | 71,500 | 43,300 |
| その他 (観光施設、まつり等) | 3,037,400 | 1,527,800 | 1,635,523 | 2,157,688 | 2,336,930 |
| 合 計 | 4,476,749 | 2,353,997 | 2,447,382 | 3,166,304 | 3,399,295 |

2 観光推進体制の整備

(1) 観光振興計画

自然や文化、歴史、食などの多彩な地域資源の魅力を生かしながら、観光客のニーズに即した「選ばれる観光地米沢」を目指すため、関係機関・団体との連携を強化しながら、「第4期米沢市観光振興計画」に掲げる各観光施策を戦略的かつ着実に展開することで、交流人口の拡大による地域及び関連産業の活性化に努める。

米沢市版DMOを運営し、各団体の役割の明確化と相互の連携を図りながら一体となって観光振興に取り組む体制を構築し、中長期的な視点から実践的に観光マネジメントを行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出し、観光関連事業者の地域への誇りと愛情の醸成を図る。また、置賜圏域や隣県自治体との広域観光連携を強化し、観光情報の発信及び受入態勢整備の充実を図る。

(2) 広域観光事業

① 山形おきたま観光協議会（令和6年度負担金 855千円）

置賜3市5町の観光素材を有機的に結び、広域観光ルートの整備を図るとともに、総合的な誘客促進事業を展開している。

山形県春の観光キャンペーン、広域観光プロモーションの展開、東北中央自動車道福島-米沢間開通を契機としたエリア周遊・滞在の促進、JR東日本などと連携した誘客事業、外国人観光客の受入れ拡大、山形おきたまフィルムコミッションの運営等。

② 会津・置賜広域観光推進協議会（令和6年度負担金 500千円）

これまで、観光庁の観光圏として認定を受け圏域内での2泊3日以上滞を目指した事業の展開や二次交通「マスコットくん」のバス運行事業を行ってきたが、これまでの事業の見直しを行い、バス運行組織を発展的解散した。平成28年度から新たに会津・置賜広域観光推進協議会を設立し、互いに連携を取りながら更なる観光誘客を推進するため事業を展開している。

ラーメン湯治デジタルラリーの実施により、会津・置賜両地域における広域的な観光の誘客促進及び滞在時間の延長による観光消費額の向上を図る。

③ 福島市・相馬市等福島県北との連携

東北中央自動車道の福島～米沢間及び相馬福島道路の開通を契機とし、福島県北との地域連携を推進していく。「道の駅」を巡る周遊観光やスタンプラリーの実施により、広域的な観光の誘客促進を図る。

(3)各団体の育成及び連携強化

観光の振興は地域産業経済への波及効果も大きいことから、観光コンベンション協会等の関係団体や観光施設、旅行代理店等との連携を密にしながら、関係諸団体の育成及び連携強化を図っている。

また、令和4年度に設立した「米沢市版DMO」の推進については、観光のみならず幅広い産業の関連団体に参画いただき、合意形成を図っていくことで、オール米沢で観光事業を推進していく体制構築に取り組んでいく。

①米沢市版DMO実施事業（令和6年度負担金 67,500千円）

観光戦略を決定する組織「米沢観光推進機構」と施策の実行組織「プラットヨネザワ株式会社」の2つの組織を包括して「米沢市版DMO」と位置づけ、事業を推進している。

また、観光振興に関する方針や将来像を共有し、稼げる地域を作っていくための専門人材や事務局体制を整え、令和9年度以降の自立・自走を目指して取り組みを行っている。

②(一社)米沢観光コンベンション協会（令和6年度補助金 18,685千円）

宣伝誘致事業、コンベンション誘致活動、観光案内所の運営、観光意識の普及向上及び観光客に対する接遇改善、四季のまつりの実施、物産振興事業受託、観光地の美化、おまつり広場指定管理受託、観光ガイド支援事業、旅行業等の公共性、公益性が高い業務を行っている。

③米沢四季のまつり委員会（令和6年度補助金 40,800千円）

「米沢上杉まつり」、「なせばなる秋まつり」、「上杉雪灯籠まつり」の開催。地域の各種イベントへの支援等

④米沢市観光キャンペーン推進協議会（令和6年度補助金 3,011千円）

各種観光キャンペーン・キャラバンの実施、アニメコラボグッズ作製への支援、観光ホームページ（米沢観光ナビ、フェイスブック等）の運営による情報発信等

⑤米沢エリアスキー場協議会（令和6年度負担金 225千円）

冬季誘客キャンペーンの実施等

⑥天元台×白布リボン協議会（令和6年度負担金等 55,030千円）

西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリアリボンプロジェクト事業の推進のため、地元企業等、金融機関、関係経済団体及び本市で構成する官民連携のコンソーシアムとして、令和2年6月に設立。西吾妻山、天元台高原、白布温泉を一体のエリアとして捉え、関係機関が連携してハード・ソフトの両面から事業を展開していくことで、魅力あふれるエリアに再生し、賑わいを取り戻すことで地域経済を活性化させ、事業終了後も継続的・発展的に自走できる体制を目指していく。

⑦アニメツーリズム誘客推進協議会（令和6年度負担金等 5,000千円）

山形県を舞台としたアニメーション映画がNetflix世界独占配信・日本劇場公開されることに合わせ、米沢市の地域振興・観光振興に繋げる目的で、令和5年11月に設立した。自分たちの住む町が映画の舞台となることに喜びと誇りを感じ、訪れた方を温かく迎えるおもてなしの心を育て、市民一丸となって作品を応援していける体制構築に取り組んでいく。

聖地巡礼観光マップの作成、聖地巡礼スタンプラリーの実施、米沢市民無料試写会の開催、特設コーナーの設置、好きあま@米沢応援隊の設立、ノベルティグッズや協力事業所によるコラボ企画への支援等

⑧その他の連携団体等

白布温泉観光協会、小野川温泉観光協議会、温泉米沢八湯会、山形県観光物産協会、やまがた観光キャンペーン推進協議会等

3 地域資源を活用した観光の振興

(1) 歴史と文化の活用

「上杉の城下町」として米沢城址、上杉家廟所、林泉寺、上杉記念館などの史跡をはじめ、その他にも多くの史跡や貴重な文化財に恵まれ、市の重要な観光資源となっている。また、地域の観光資源を「米沢の宝」として掘り起こし、着地型観光素材として生かした観光振興を図っている。

(2) まつりとイベントの活用

「米沢上杉まつり」、「なせばなる秋まつり」、「上杉雪灯籠まつり」をはじめ、各種イベントへの支援により地域経済の活性化と観光客の誘致を図っている。

(3) 自然の活用

磐梯朝日国立公園吾妻山並びに斜平山等の自然景観の保全と観光客への美しい自然を提供することを第一とした誘客対策を講ずるとともに、来山した観光客の安全を図るための登山道の刈払い環境整備、道標や案内板の設置、避難小屋の維持管理などを実施している。

また、米沢山岳遭難対策委員会では、警察や消防、山岳関係者等との相互協力のもと、登山者への事故防止対策と迅速な捜索活動に努めている。

(4) 他産業との連携の推進

農業体験や農家民泊等の体験型教育旅行の受入れを南原関地区を中心に行っている。また、米沢織に代表される伝統産業や現代工芸、最先端技術である有機エレクトロニクス等を生かした産業観光の推進を図っている。

(5) 物産等の振興

本市とゆかりのある姉妹都市等を中心とした物産展への参加や、観光イベントとの連携を図り、本市の物産を広く全国にPRしている。

4 誘客宣伝活動の推進

新型コロナウイルス対策の行動制限緩和にともなう各種催事の復活により、県観光物産展や姉妹都市、ゆかりの地域の物産展に数多く参加することができた。また、「米沢に咲く、紅花。」観光物産市in横浜など、新たに本市主催の物産展を実施するなどの販路拡大を図った。

また、本市の観光資源や特産品等を全国に情報発信してもらい、知名度アップにつながる活動を行っていただくため「おしょうしな観光大使」を委嘱している。平成26年度からは、本市と同じ米澤（米沢）の姓を持つ方及び屋号を持つ代表者を「米澤型」として創設し、本市の魅力を全国各地で紹介してもらっている。

現在は依頼型9組10名、公募型31名、米澤型9名、食の部門（米沢食の種まき大使、米沢食の親善交流大使）3名を委嘱している。（令和6年4月1日現在）

| 令和5年度実績（実施概要） | 回数 | 備考 |
|-------------------------|-----|--------------|
| 誘客キャンペーン、マスコミ訪問等観光キャラバン | 4回 | 近県 |
| 各種物産展参加 | 30回 | 姉妹都市、県観光物産展等 |

5 受入れ体制の整備

観光客の利便性の向上と市内回遊促進を図るため「米沢観るパス」を、二次交通の整備として市内路線バスを対象にした一日乗り放題券「米沢乗るパス」を実施している。また、本市観光資源を紹介するための観光ガイドブックを製作し、主に観光客への提供、市内外各観光施設への設置、観光キャンペーンの際に活用している。

ハード面では、東北中央自動車道福島・米沢間の開通（平成29年11月4日開通）にあわせて、道の駅米沢を整備（平成30年4月20日開業）したほか、史跡の説明看板や、観光案内標識等の整備を実施している。

インバウンドの受入推進としては、多言語観光ガイドブック「米沢」や日本語・英語版の着地型観光情報誌を観光案内所や観光施設等で配布している。

(1) 観光施設等の利用状況 (単位：人)

| 施設名 \ 年度 | R1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|---------|--------|--------|--------|---------|
| 上杉記念館 | 23,330 | 8,117 | 7,669 | 8,166 | 8,953 |
| 道の駅田沢 | 119,024 | 81,620 | 79,524 | 78,192 | 108,924 |
| 置賜広域観光案内センター※ | 91,176 | 40,086 | 51,732 | 64,951 | 75,331 |

※外国人観光案内所カテゴリーⅡ認定

(2) おまつり広場駐車場利用台数 (正午時点の駐車台数) (単位：台)

| 車別 \ 年度 | R1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| バス | 1,299 | 680 | 805 | 1,274 | 2,261 |
| 乗用車等 | 57,190 | 46,296 | 47,319 | 49,872 | 51,969 |
| 合計 | 58,489 | 46,976 | 48,124 | 51,146 | 54,230 |

(3) 看板等整備状況 (R6.4.1現在/市管理分)

| 名称 | 数 | 主な設置場所等 |
|----------------------|----|---|
| 観光案内誘導板 | 76 | 市内主要道路 |
| 史跡説明板 (外国語併記含む) | 62 | 市内名所旧跡(上杉神社、春日山林泉寺、上杉家廟所等) |
| 観光案内マップ (外国語表記含む) | 10 | 米沢駅ASK、伝国の杜敷地内、松が岬公園前、林泉寺、上杉家廟所、アイディアの泉前等 |
| 旧町名標柱 | 32 | 住ノ江町、柳町、東寺町ほか |
| 城下町散策看板 | 34 | 松が岬公園、上杉家廟所、春日山林泉寺ほか |

(4) 道の駅米沢運営管理事業

① 概要

東北中央自動車道の福島～米沢間の開通にあわせて、道路利用者のための休憩機能、情報発信機能とともに、活力ある地域づくりのための地域連携機能や防災支援機能を併せ持つ「道の駅米沢」を国土交通省の「重点道の駅」の指定（H27.1月）を受けて道路管理者である県と一体型で整備を進め、平成30年4月20日に開業した。

② 施設概要（令和6年度指定管理料 25,224千円）

■所在地/米沢市大字川井1039番地の1

■敷地面積/21,677㎡（東西約250m、南北最大約90m）

■建物面積/1,836㎡（東西約82m、南北最大約23m）

■総事業費/2,083,716千円

■営業日/年中無休

■主な施設・営業時間

- ・駐車場、トイレ、情報・休憩コーナー：24時間
- ・総合観光案内所、農産物直売所、特産品販売所：9時～18時
- ・フードコート、ファストフード：10時～18時
- ・米沢牛レストラン牛毘亭：11時～21時
- ・コンビニエンスストア：7時～21時

■駐車台数

- ・大型車：30台
- ・普通車：193台（パーク＆ライド用25台、臨時用（防災支援）38台を含む）
- ・障がい者用：4台
- ・二輪車：12台

■その他

農産・食肉加工施設、防災支援施設（多目的広場・芝生広場、他）、EV充電施設
高速バス停留所、倉庫

【建物全景】



【総合観光案内所】



【フードコート】



【農産物直売所】



【特産品販売所】



③ 利用状況

| 内容/年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|------------|------------|------------|
| 平日 | 850,107人 | 918,639人 | 934,966人 |
| 土・日・祝 | 636,804人 | 731,506人 | 776,745人 |
| 合計 | 1,486,911人 | 1,650,145人 | 1,711,711人 |

④ 総合観光案内所

道の駅米沢は、山形県南のゲートウェイとし、県内各地を結ぶ総合観光案内の窓口機能の特長としている。総合観光案内所は、前述の機能を担うものであり、道の駅米沢を起点とした滞在型観光の促進及び地域内での消費増加等、地域経済の活性化に大きく寄与している。

* 観光案内所案内状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

- ・電話による案内 11,311件
- ・窓口による案内 38,341件

* 「まちナビカード」の実施状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

| 市町名 | 合計 | 米沢市 | 長井市 | 南陽市 | 高畠町 | 川西町 | 小国町 | 白鷹町 | 飯豊町 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 延べ店舗数 | 74 | 56 | 1 | 6 | 3 | 5 | 1 | 1 | 1 |

◆ジャンル別まちナビカード回収率

| ジャンル | 麺 | 肉 | 飲食 | 販売 | 宿泊 | 文化エリア | 酒 | 体験 | その他 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 配布枚数 | 2,780 | 7,220 | 4,250 | 6,350 | 3,490 | 1,110 | 1,920 | 1,110 | 1,820 | 30,050 |
| 利用枚数 | 634 | 2,687 | 496 | 1,578 | 642 | 495 | 740 | 67 | 374 | 7,713 |
| 回収率 | 22.8% | 37.2% | 11.7% | 24.9% | 18.4% | 44.6% | 38.5% | 6.0% | 20.5% | 25.7% |

* 旅行商品造成・手配旅行・宿泊手配（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

- ・旅行商品造成件数 21件（催行件数11件 催行102名）
- ・宿泊手配件数 22件

5. 米沢ブランド戦略

1. 米沢ブランドアクション

- (1) 産品だけではなく、サービス・観光・文化・行政等、様々な分野での「挑戦と創造」を喚起し、米沢全体の付加価値を高めていく。
- (2) 様々な手法によって、多くの市民の理解・共有を促進し、市民と共に「米沢ブランド」を育てていく。
- (3) 市民が住み続けたいと思い、観光客の誘致や交流人口・移住等の拡大に繋がるような息が長く強い運動を推進していく。

【ブランドコンセプト】

鷹山公のDNA『挑戦と創造』の力で、次の米沢をつくる。

【ブランドスローガン】

【ブランドロゴ】

挑戦と創造のあかし
米沢品質



【米沢ブランド宣言／次の米沢へ「挑戦と創造」宣言／2018. 11. 2】

私たちは、米沢を将来もずっと活気あふれるまちにしていくために、米沢を愛した鷹山公から受け継ぐ、「なせばなる」の挑戦と創造の精神で、時代の課題に立ち向かい、米沢の未来を切り開いていきます。

私たちは、すべての米沢らしさを最大に生かして、一人一人が自ら行動し、米沢の明日を輝かせる新しい価値、「米沢品質」を生み出していくことに全力で取り組みます。

私たちは、市と市民が一体になったチームとして、米沢の産業・技術・サービスから、市民の住みやすさまで、米沢の全ての品質を磨きあげていくことを目指します。

私たちは、米沢の未来をつくるこの大きな挑戦と創造を、今日、いまこの場から一斉にスタートさせることを、米沢市と米沢市民を代表して、本日ここに、宣言いたします。

2. 米沢品質向上運動

様々な分野の「挑戦と創造」を持続的に向上させ、米沢全体のブランド価値を高める施策。

(1) TEAM NEXT YONEZAWA (略称：TNY)

米沢のブランディングに賛同し、米沢品質向上運動に参加するプレイヤー。米沢市内の企業・団体・個人であれば誰でも登録することができる。

(単位：チーム)

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 登録者数(累計) | 164 | 175 | 195 | 205 | 220 |

(2) 米沢品質AWARD

米沢品質向上運動の中から生まれる「挑戦と創造」を究め、特に秀でた米沢品質を有する商品やサービス等に対する顕彰制度。

令和元年度は27チームから28件の申請があり5件を選出した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、米沢品質AWARDの実施を見送った。

令和3年度は15チームから16件の申請があり4件を選出した。

令和4年度は9チームから9件の申請があり3件を選出した。

令和5年度は7チームから7件の申請があり5件を選出した。

| 年度 | 申請者 | 申請内容 |
|-------|-------------------------|---|
| 令和元年度 | 鈴の宿 登府屋旅館 | 車椅子でもラクラクのバリアフリーな温泉と落語を楽しむ宿 |
| | 株式会社米澤佐藤畜産 | 自社牧場産米沢牛 |
| | 株式会社ベジア | 鷹山秘伝豆のジェラート |
| | 株式会社ゆきんこ WORK at ART事業部 | 雪割納豆 かんずり入り |
| | アルス株式会社 | 木製サッシ 夢まど |
| 令和2年度 | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | |
| 令和3年度 | 道の駅米沢 | 米沢牛オーダーカットステーキ、米沢牛刺身 |
| | NPO法人青空保育たけの子 | 子どもの目の輝きを取り戻す野外保育 |
| | 株式会社ニューテックシンセイ | もくロック (木製ブロック) |
| | 株式会社nitorito | nitorito 米沢織を使用したストール |
| 令和4年度 | 三井屋工業株式会社 東北事業部 | 米沢発！中小企業のスマートファクトリー |
| | 株式会社米沢稔りの会 | 米沢上杉藉田米 |
| | 株式会社シルキーリビング | 羽毛ふとんゼオテックス・リフォーム |
| 令和5年度 | 株式会社米沢牛黄木 | 黄木の米沢牛「大切な時を、もっと美味しく」 |
| | 里山ソムリエ | 森に暮らす～歴史ある里山からの (SDGsな) ライフスタイル |
| | 福祉車両専門店らぶれす | 障がいがあっても自分の好きな車に乗ろう！障がい者・高齢者のための自動車改造サービス |
| | 道の駅米沢 | 道の駅米沢～県内外のお客様が訪れるゲートウェイ型の道の駅～ |
| | 今野味噌醤油醸造店 | 二年熟成木桶仕込み丸大豆無添加醤油「老」 |

(3) 米沢品質AWARD委員会

「米沢品質AWARD」を審査する第三者機関。米沢品質向上運動から生まれる「挑戦と創造」を究め、特に秀でた米沢品質を有する商品やサービス等を客観的な視点で評価する。

令和6年度審査員

■審査員長

永井一史／株式会社HAKUHODODESIGN代表取締役社長

■外部審査員

平塚千瑛／おしょうしな観光大使

エバレット・ケネディ・ブラウン／写真家

田村大／株式会社リ・パブリック共同代表

紫牟田伸子／紫牟田伸子事務所代表

三浦亜美／株式会社ima代表取締役

■内部審査員

米沢ブランド戦略会議会長・副会長

弁護士・弁理士

山形新聞社置賜総支社長

6. ふるさと納税

1 ふるさと応援寄附金制度推進事業

全国に本市の魅力や取組を発信することで、応援したい自治体として選んでいただき、ふるさと納税（寄附）につなげていく。あわせて、地場産品を返礼品とすることで、地域と寄附者とのつながりを築くとともに地域経済の活力に結び付けている。

過去5年間の寄附実績

| | R1年度 | R2年度 | R3年度 |
|------|----------------|----------------|----------------|
| 寄附件数 | 30,819件 | 28,199件 | 42,722件 |
| 寄附額 | 1,393,830,000円 | 1,406,630,822円 | 1,824,851,278円 |

| | R4年度 | R5年度 |
|------|----------------|----------------|
| 寄附件数 | 44,970件 | 42,646件 |
| 寄附額 | 1,692,995,800円 | 1,509,778,600円 |

2 企業版ふるさと納税推進事業

本市へ外部収益確保のため、地方創生応援税制寄附金（企業版ふるさと納税）による寄附拡充を図っている。

過去5年間の寄附実績

| | R1年度 | R2年度 | R3年度 |
|------|------------|-------------|------------|
| 寄附件数 | 2件 | 4件 | 4件 |
| 寄附額 | 2,000,000円 | 13,100,000円 | 4,500,000円 |

| | R4年度 | R5年度 |
|------|------------|-------------|
| 寄附件数 | 17件 | 13件 |
| 寄附額 | 7,000,000円 | 13,300,000円 |

